

# 農業水利施設見学会

国営造成施設管理体制整備促進事業の一環として弘戸小学校5年生を対象に施設見学会を実施した。バス移動の途中で農道に降りてもらい、当土地改良区が干拓によって造成された田を管理していること、周辺から流れてくる生活排水や雨水の終末処理をしているため排水機場のポンプで八郎潟調整池に排水していることなどを説明した。次に、揚水機場、排水機場を見学し実際に調整池に排水する様子を見せた。子ども達は建物があことは知っていても、どういう働きをしているのか知らなかったため、改めて各施設の役割について理解したようだった。

その後、南部排水機場に移動し八郎潟干拓のことや排水機場の仕組みをビデオで見てから、集中制御方式の操作室や巨大なポンプを見学した。最後に排水の様子を見た子ども達は、管から勢いよく出る水を見て驚きと喜びの声を上げていた。

今後も農業水利施設の重要性と土地改良区の行っている維持管理について理解してもらうためにこの活動を継続していきたいと思う。



活動体制	
実施主体	水土里ネット八郎潟西部干拓（八郎潟西部干拓地区土地改良区）
後援・連携	弘戸小学校、秋田地域振興局 八郎潟基幹施設管理事務所
実施期間	平成24年6月26日
参加者	弘戸小学校（生徒24名、教職員3名）八郎潟基幹施設管理事務所（2名）土地改良区役職員（8名）
報道関連	
活動実施年数	3年目（H22年～）
連絡先	〒010-0431 男鹿市弘戸字浜1-6 八郎潟西部干拓地区土地改良区 TEL.0185-46-2174
その他	

【活動内容に対する自己評価】 水土里ネット八郎潟西部干拓（船木 友見）					
○活動の目標及び達成率	目標	農業水利施設とそれを維持管理している土地改良区について理解や関心を持ってもらう。			
	達成率	60%			
○活動に対する評価	・小学校からは好評を得ており、今後もしできる限り継続していきたい。				
判定基準	自己判定（達成度）		判定基準	自己判定（達成度）	
	判定	評価等		判定	評価等
1. 取組体制について			④運動のPR	D	運動のPRはしていない
①役職員・組合員の参加	B	役職員一体で取り組んでいるが、組合員の参加も促したい	4. 運動の成果		
②後継者育成の工夫	D	後継者を育てる工夫までにはっていない	①他組織との連携構築	B	小学校と連携している
2. 活動の意欲性について			②地域住民等の理解	C	子供達を通して少しずつ深まってきた
①基本理念の設定	B	推進協議会で計画を立て実施している	③施設管理・地域資源の保全強化	C	更に努力が必要である
②地域の歴史等の伝承	C	干拓の歴史について理解されつつある	④運動の地域づくりへの関わり	C	少しずつ発展させていきたい
③運動の先駆性	C	工夫が必要である	⑤農地・水・環境保全向上対策への貢献	E	農地・水・環境保全向上対策は、行われていない
3. 運動の継続性・発展性			⑥地域農業振興への貢献	D	地域農業の振興にまで至っていない
①運動の継続性	B	学校側の協力を得ながら継続していきたい	5. 今後の課題等について		
②運動の発展・拡大	C	大きな発展までには至っていない	・安全面に留意し、継続的な取り組みができるよう努力していきたい。		
③運動の計画性	B	推進協議会で計画を立て、小学校と連絡を取り行っている			

（自己判定）A：大いに達成している B：達成している C：少しは達成している D：達成していない E：その他